

こんなときは兵庫県弁護士会へ

兵庫県弁護士会では、様々な窓口を設け、市民の皆様のご要望にお応えしています。

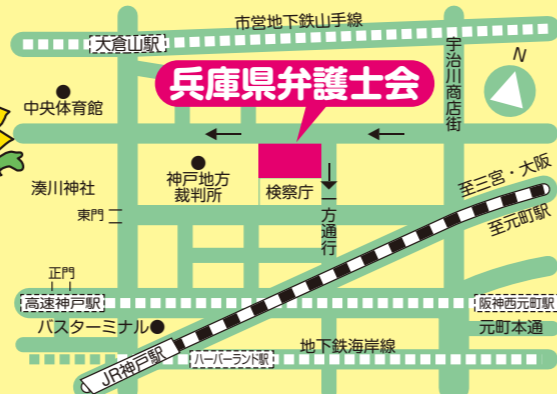
<p>法律相談したい</p>  <p>県下13箇所の相談所での弁護士による一般相談窓口。何処へ相談して良いか分からないという方はまずはこちらへ</p>	<p>訴えられたとき</p>  <p>裁判等の当事者対象の無料相談</p>	<p>借金・生活</p>  <p>借金による多重債務についての相談(無料)</p>	<p>高齢者・障がい者相談</p>  <p>高齢者・障がい者についての専門法律相談。来所相談、出張相談、電話相談のご案内</p>
<p>逮捕されたとき (当番弁護士制度のご案内)</p>  <p>逮捕された方への当番弁護士派遣のお申込み</p>	<p>犯罪被害にあったとき</p>  <p>犯罪被害者やその遺族の方への無料相談</p>	<p>仲裁・裁判外の解決(ADR)</p>  <p>紛争解決センターによる和解あっせん制度のご紹介</p>	<p>住宅でもめているとき</p>  <p>住宅紛争審査会での住宅紛争処理手続きについて</p>
<p>犯罪被害者・加害者対話センター</p>  <p>犯罪加害者と被害者との間の対話促進事業や、加害者から被害者への謝罪文をお預かりする「謝罪文銀行」について</p>	<p>遺言・相続</p>  <p>遺言や相続に関する無料電話相談窓口</p>	<p>中小企業相談</p>  <p>売掛金の回収や事業承継など、中小企業にまつわる無料相談窓口</p>	<p>消費者被害にあったとき</p>  <p>商品先物、証券取引、マルチ商法、インターネット取引、欠陥商品、欠陥住宅などにおける消費者被害に関する専門相談窓口</p>
<p>労働相談</p>  <p>解雇や雇止め、賃金等の未払いなどでお困りの方のための労働相談窓口</p>	<p>子どもに関する相談</p>  <p>いじめ、体罰、虐待、不登校、校則、少年事件などについての相談(無料)</p>	<p>DV相談</p>  <p>DVとは何かのご説明や、支援の法制度、相談窓口などのご案内</p>	<p>空き家対策支援センター</p>  <p>空き家にまつわる法律問題に対応できる弁護士の紹介、自治体等で実施する空き家に関する市民向けセミナーへの弁護士派遣などを行います。</p>

どの窓口かわからない場合でも、まずは、兵庫県弁護士会までお電話ください。

兵庫県弁護士会館
〒650-0016 神戸市中央区橋通1-4-3

TEL:078-341-7061

兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001



仲間と共に、おかしいことをおかしいと言え、世の中は変わっていく

宝塚市 中川智子市長と会長の対談





中川智子さんは、2009年から3期12年にわたって宝塚市長を務めた。市民目線でいのちと暮らしを第一に考える政治家として知られている。

衆議院議員時代の被災者生活再建支援法の創設、薬害ヤコブ訴訟支援、ハンセン病国賠訴訟支援等に始まり、市長として、同性婚の公的認定、就職氷河期世代の職員採用、原発避難者への住宅支援、被災者の借上市営住宅の継続、脱原発の実践など、人権を重視する政策を展開してきた。特定秘密保護法や安全保障関連法案に対しても明確に反対する意見を掲げたほか、東日本大震災の被災地支援など、これまで弁護士会が展開してきた諸活動と同一線上で、常に一歩先を進んできた市長さんである。

今年4月、任期満了で退任予定。弁護士に向けたメッセージをいただいた。

■「言葉」を大切に

津久井 間もなく任期満了です。たいへんおつかれさまでした。早速ですが、中川さんが市長として特に大事にしてきたことは何でしょう。

中川 言葉です。リーダーは、つらいとき、しんどいときほど自分の言葉で話さないといけないの。ドイツのメルケル首相が「あなた方へ」と呼び掛けたのもそうです。汚職事件が立て続いて私が当選してから初登庁した第一声で、職員に「本当につらかったのはあなた方でしょう。あなたを二度とつらい目には遭わせませんから。」と話しました。職員の心に届いたようで、今でもそのときの話をしてくれる職員がいます。様々な機会での市長挨拶も、担当の職員さんが文章を用意してくれるのですが、それをよく読んで上で「わたしの言葉」で練りに練って、当日は何も見ずにお話してきました。作家の五木寛之さんをお招きした講演会では、主役が言葉のプロなので、先に挨拶に立った私は、聴衆の皆さんを前に歌を歌いました(笑)。「皆様」ではなく「あなた」に言葉を届ける。私いつでも「あなたを喜ばせるのが好き」という気持ちがあるんです。

■弁護士に期待すること

津久井 なるほど、お話しに言葉を感じます。私も言葉の力を大切にしたいです。中川さんは、私たち弁護士にはどんなイメージをお持ちですか。

中川 実は法律事務所で1年働いたことがあって、驚くような経験がたくさんありました。その前に働いていた会社での経験の中で「仲間と共に、おかしいことをおかしいと言えば、世の中は変わっていく」と確信したので、職場の弁護士さんにも臆せず「おかしいことはおかしい」と言いました。衆議院議員時代にはたくさんの方の弁護士さんにお会いしました。人権を守り、弱い人の強い味方になるのは弁護士です。人を幸せにする仕事ですもんね。市政でも、多くの弁護士に御協力をいただきました。教育委員、離婚や子ども養育に関わる相談員、子どもの権利サポート委員など数え切れません。

津久井 私たち兵庫県弁護士会では、2019年3月5日に「大相撲土俵上の女人禁制廃止に向けた会長声明」を出しました。

中川 土俵問題のとき、私は「孤独」でした。これは人権問題だと思って声を上げましたが、表面的な議論や報道ばかりで、空しさを感じました。だから、兵庫の先生方がシンポジウムを開いて支えて下さったのは嬉しかったわ。日本相撲協会と交渉したときに「(兵庫県)弁護士会の会長声明を読みましたか」と言ったら、協会の理事が「弁護士が何を言おうがこわくない」と返してきたのには驚きました。でも、私は小学5年の頃に差別や貧困の現実を知って、そんな理不尽なことがない世の中にしたいという思いでやってきたんです。

■活動の根底にある思い

津久井 社会の隅々にいる方々にまで目線に常にやさしさを感じます。中川さんが、東日本大震災のとき真っ先に被災地に向かっていたのを私も知っています。被災者の方々の目線に立って支援をされてきましたね。

中川 私には阪神・淡路大震災の経験があるから、東日本でどんな辛い目に遭うか分かるでしょ。まずあたたかい物を食べたくなるんです。宝塚市では「自校調理方式」でやってきて、調理師の職員が、ちょうど春休み期間に入ったところだったので、大船渡市(岩手県)に道具を持って入って1500人分の豚汁を作りました。とても喜ばれNHKでも大きく報じられました。宝塚市では今年3月まで東日本大震災の被災地に職員派遣を続けてきましたが、帰ってきた職員は「第2の故郷ができた」と言ってくれます。でも、大槌町(岩手県)に派遣した職員が自死してしまったことは本当に悲しく、後悔しています。一方、避難者の方々も迎え入れ、宝塚で子どもさんと暮らし、市議会議員になった女性もいます。それから、阪神・淡路大震災の借上げ復興住宅で暮らす方々には、クリスマス前に継続入居を決めました。避難所、仮設住宅など転居を繰り返した方々には、2度目の「被災」を経験させてはいけないと考え、プレゼントの気持ちを込めました。

津久井 なかなか真似できないすごいことばかりです。中川さんの原動力はどこにあるのでしょうか。

中川 私、夫が大好きで大恋愛して結婚しました。はじめから家事は共同分担。夫は、「台所の片付けも1人でやれば1時間、二人でやれば30分で済むし、二人一緒だから楽しい」と言ってくれる人でした。当時は夫が家事を分担するのは珍しくて、陰口を言う人もいました。当時、私が近所の目線を気にしていると「正しいことをやればいいんだ」と、私が一喝されました。もう惚れ直しちゃいました。



私が政治の仕事で時間がなくても、夫は「家族は量じゃなく密度が大事」と言ってくれて、お互いの信頼は揺るぎませんでした。そうした信頼できる身近なパートナーの存在って大切です。のろけ話でごめんなさい(笑)

津久井 素敵な恋話でした。男女共同参画の根っこの大事な部分を教えていただいた気がします。弁護士会として、今日の中川さんのお話しを通じて託された数々のバトンを受け取って、しっかり活動して参ります。どうもありがとうございました。

(以上対談要旨:対談日2021/3/4)



兵庫県弁護士会
イメージキャラクター
ヒマリオン
Since2001

会長のご挨拶

兵庫県弁護士会 令和3年度会長 津久井 進



当会は、阪神・淡路大震災で、市民の生活再建のためにワンチームで力を尽くしました。中川市長の「弁護士は人を幸せにする仕事」の言葉は私たちへのエールです。コロナ禍も災害ですから、震災から四半世紀にわたって蓄積してきた知恵・経験を生かして弁護士会の使命を果たしていきたいと思えます。

会員は1000名を超え新たなフェーズに入りました。SDGs(持続可能な開発目標)の「誰一人取り残さない」に共鳴し、本年度は『一人ひとりが大事にされる社会に with 弁護士』をスローガンに掲げました。任期は1年、副会長と共に精一杯がんばります。